

競技上の注意

（公財）全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部

1 競技規則

本大会は、2021年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則ならびに（公財）全国高体連ハンドボール専門部内規及び申し合わせにより実施する。

2 競技時間

①30分（前半）－10分－30分（後半）とする。

ただし、チーム入れ替えや消毒作業、アップ時間確保と最終試合の終了時間を考慮して、別紙の日程で実施する。

②延長戦は、準決勝戦までは第一延長を行う。それでも勝敗が決しない場合は、7mスローコンテスト(5人制)で勝敗を決する。決勝戦は、第二延長まで行い、それでも勝敗が決しない場合は、7mスローコンテスト(5人制)で勝敗を決する。

③加算式の電光表示時計を使用する。

④競技終了・チームタイムアウトの合図は、ホーン（ブザー）で行う。

⑤退場時間は、退場者電光表示板で表示する。入場はチームの責任によって行う。

3 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と対応

現在の状況を取り巻く環境下を考慮して、強力な対策を講じることとする。以下の項目について各チームで厳守すること。

①本大会の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン（以下「大会ガイドライン」という）に従って行動をすること。

②代表者会議当日受付でチームは「参加承諾書（様式1）」を提出すること。

③各校で新型コロナウイルス感染症対策責任者（教員）を設け、対応等できるようにすること。
責任者はチームのメンバーの体調を毎日確認するとともに、各会場で入場の際「体調チェックシート（様式2-1）」を入館時受付に毎回提出すること。

④選手またはチーム役員等・顧問の感染が期間中判明した場合の対応

・入館の際、受付でチームごとに検温を行い、チーム内に37.5℃以上ある場合や体調不良者は入館できず、安全性の判明が間に合わない場合は、チームの出場辞退を勧告する。

・大会中に出場チーム（対戦相手チームの場合もある）に濃厚接触者や感染疑いが生じた場合は出場辞退を勧告する。

・対戦チームに陽性者が出た場合や対戦済みの相手（敗退したチーム）に感染疑いが発覚した場合、次戦がある当該チームに対して棄権を勧告する。

⑤受付確認後、IDカード所持者及び関係者のみが入館できるものとする。

⑥会場における時間等について

・入館時間を試合2時間前とする。（ただし、スカイホール第1試合については8時10分以降とする。）

・コート入場時間は前試合終了後、会場役員の指示のもと入場する。（接触を避ける。）

・退館時間は試合終了後40分以内で、選手同士の密の状態を避けて退館すること。

・延長等があった場合は放送等で開始時間を指示する。

・コート使用のアップは、前試合チーム退場後の試合間の時間とする。更衣も含め5分前にはベンチ前に集合すること。

⑦大会に参加するすべての者はマスクを着用すること。ただし、アップ中や競技中の選手および交代が頻繁な控え選手はその限りではない。

⑧感染の疑い及び陽性者が判明した場合は、「コロナ感染症対策委員会」で協議し、大会続行の可否など判断する。

⑨チーム関係者（エントリー外の部員・保護者・学校関係者）の入館は40名までとする。チーム関係者コロナ対策責任者がチーム関係者用体調チェックシート（様式2-2）を受付に提出し、人数分のリストバンドを受け取る。会場内では必ずリストバンドを着用すること。（責任者は保護者でも可）

⑩チーム内に感染者が出た場合はそれ以上に集団感染（クラスター5人）・感染拡大を起こさないことや誹謗中傷を絶対生み出してはならない。

⑪その他、今後の感染状況によっては、大会ガイドラインの記載事項や対策変更があることなど理解の上、指示に従うこと。

4 大会使用球

(公財) 日本ハンドボール協会検定球 (人工皮革) を使用する。

品番	モルテン	男子 H3X4000	女子 H2X4000	ミカサ	男子 HB3000	女子 HB2000
奇数年度	男子	女子		男子	女子	
第1日目	モルテン	ミカサ		準々決勝	ミカサ	モルテン
第2日目	ミカサ	モルテン		準決勝	モルテン	ミカサ
第3日目	モルテン	ミカサ		決勝	ミカサ	モルテン

5 競技会場

(男子)	・スカイホール豊田A B	40m×20m (2面)
	・岡崎中央総合公園総合体育館B	40m×20m (1面)
	・名東スポーツセンター	40m×20m (1面)

(女子)	・スカイホール豊田C D	40m×20m (2面)
	・岡崎中央総合公園総合体育館A	40m×20m (1面)
	・名東スポーツセンター	40m×20m (1面)

(男女準々決勝～)

・スカイホール豊田A C	40m×20m (2面)
--------------	--------------

6 参加資格について

- ①代表者会議で決定したチーム役員・選手のみが競技に参加できる。
- ②ベンチは、役員4名(監督1名・役員3名とし引率責任者を含む、また生徒役員は2名までとする)および選手16名の計20名以内とする。ただし、臨時トレーナー(要資格)を届け出により追加で認める。役員・選手は、令和3年度に(公財)日本ハンドボール協会に登録され(区分は、高校)大会申込書及びプログラムに記載された者であること。また、チーム役員4名は必ず指定の役員カード(A・B・C・D)を身につけること。
- ③公式記録用紙に記載されている者だけが、交代地域に入ることが許される。チーム責任者は、試合開始10分前にチーム役員および選手の氏名と背番号が正しく記載されているかを確認し、公式記録用紙にサインする。
- ④選手・役員は試合前のユニフォーム確認時に登録証(区分は、高校)をMO・TDに一括提出し、さらに試合直前に審判員から本人の確認を受ける。

7 トス・ユニフォームについて

- ①ユニフォームの確認は、第一試合は開始時間30分前、第二試合以降は前の試合の前半終了直後に、各コート記録席前で、両チームの代表者1名のみ出席のもとで行う。本大会に登録した全てのユニフォームと選手証を持参すること。

8 裁定委員会、上告委員会

- ①本大会に裁定委員会(競技委員長・競技副委員長・審判長・総務委員長)、上告委員会(大会委員長・大会副委員長・総務委員長、大会委員長が指名した委員)を置く。なお必要に応じて関係者を同席させる。異議申し立てについては、「競技運営に関する事項4-⑧」を参照。

9 その他

- ①本大会は、1・2回戦まではTO2名、3回戦よりTO3名でオフィシャル管理する。
- ②2足制の厳守
体育館シューズ、屋外シューズを区別し、内外兼用は禁止する。守られない場合は別途指導する。
- ③松ヤニ等の使用について
全ての競技会場で両面テープの使用を認める。松ヤニ・松ヤニスプレーは使用禁止とする。
- ④大会期間中は手洗い・うがいや手指消毒をこまめに行うこと。
- ⑤本大会にはコロナ感染症対策委員会を設置する。委員は大会委員長、大会副委員長、競技委員長、競技副委員長、総務委員長、総務副委員長、審判長とし、本大会における感染症対策や感染者対策などすべての事項についての窓口となり対策を協議する。重要な判断については日本協会と協議し決定する。